

泊発電所

基準津波策定のうち日本海東縁部の津波評価について

令和2年8月17日
北海道電力株式会社

- 基準津波策定のうち日本海東縁部に想定される地震に伴う津波の評価については、令和2年6月17日の面談において防潮堤の見直しを踏まえた解析結果を揃えて説明する前に、日本海東縁部の想定波源域及びパラメータスタディの考え方を説明するように求められたことから、7月下旬頃に説明できるよう準備を進めていた。
- 日本海東縁部の想定波源域の設定及びパラメータスタディの考え方に関して、至近の先行審査プラントの状況から、以下の追加検討項目が発生したことから、7月下旬頃に予定していた検討結果の説明時期を見直すこととする。
 - 日本海東縁部の地震は、東西圧縮場という中で発生している特殊な地震であり変動幅があることを踏まえ、日本海東縁部の特性について整理
 - 日本海東縁部に想定される地震について、地下構造の考慮と断層端部の設定根拠の整理
 - 設定した波源モデルにおいて、想定した8ケースの断層パターン根拠の整理
 - 根本ほか(2009)のアスペリティモデルを採用した理由及び保守性の整理
 - 最大すべり量12mの根拠の整理
 - 日本海東縁部に関する最新知見が津波評価に及ぼす影響の整理
 - パラメータスタディにおける実施するパラメータスタディ項目の設定根拠の整理
- 追加検討項目を含めた、想定波源域の設定及びパラメータスタディの考え方の説明時期については検討中であることから、改めて説明する。